



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0141号 2021年11月24日  
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F  
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp  
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

# CUあだち秋季学習交流集会開かれる 高畠本部副委員長を迎え 11月10日(水) 決意固めあい、秋の拡大目標達成!



## 秋の拡大へ

### CUあだちも頑張ります。

10月3日のCU東京活動者会議を受けて、私たちCUあだちも次の大会までに150人の組合にしようと思統一し、取り組みを開始しています。これまで、労働相談で協力関係を持ち、協力いただいている共産党区議団を訪問し、7人の議員さんに協力を訴え快く加入をいただきました。さらに、足立土建支部には23全分会に組合員の紹介を要請しました。新婦人にも訴え、横川支部長がCU会員に加入してくれました。毎月のCUあだちだよりの絵手紙は新婦人提供によるものです。

11月9日には「足退教」の15人が参加した世話人会に招かれ、館副委員長からCUあだちの活動の報告と協力員になって欲しいとの訴えをさせていただきました。2人の方が加入してくれました。様々な協力をいただいています。引き続き労働相談を通して、組合員を迎え「駆け込み寺」の役割を足立地域で頑張ろうと皆さんに負けず目標の超過達成をめざし頑張ります。

(副委員長 館幸雄)

## コミュニティユニオンって

### 何ですか？

### —CUあだちで秋季セミナー開く—

去る11月10日6時30分から、CUあだちは「労働組合CUの活動と今後の闘いについて」を主なテーマにしてCU東京副委員長の高畠さんを講師に足立教育会館を会場にセミナーを開催しました。24名の仲間が参加しました。コミュニティとは共同体や地域社会のこと、ユニオン

### 〈組合員のみなさんへ〉 月間を成功させましょう

11月20日

執行委員長 佐藤義見

お元気ですか。月間も大詰めです。加入者が80人に迫り、達成まであと30数人です。

CUは労働相談に応え、月間をとりくみ前進してきました。様々なルートで相談が来ています。東京に網の目のよう「駆け込み寺」をつくり、働く人の「セーフティネット」にしましょう。

組合員拡大にお力をお貸しください。

とは組合とか労働組合を指し働く人たちの結合体ということになりますね。から話をすすめました。

労働組合ってなに、持てる力は何があるかと問いかけ、CUは弁護士のかわりではない。法律で認められた労働組合は労働3権という権利を持っています。3権とは①団結権②団体交渉権③団体行動権で労働組合の力の源です。さらに、会社の目的は何か、庶民の働く場を提供する組織ではありません。物を作ったり、サービスを提供して利益を上げるところです。

## なぜ私たちは 闘わなければならないか

今は1日8時間、週40時間とか言われていますが、1810年にイギリスでロバートオウエンという人が自分の会社で10時間労働制を実施した。それまでは幼い子供までが16時間も働かされ、自分の時間は寝るだけと言われた時代からデモやストライキで闘った歴史の中で1917年ソビエトが初めて「8時間労働」を法律で決めました。労働時間一つとっても100年もの闘いの歴史があります。

労働者の賃金は誰が決めるか。経営者は労働者の働かせ方は「俺が決める」、賃金以上の成果をめざします。経営者は都合よく労働者の首を切って経営を安定させようとします。近年は派遣や請負、シフト制の導入で会社にとって、うってつけの働き方をどんどん取り入れてきており格差社会になっている。労働者の利益を守るため労働組合の権利を駆使して闘い、解決する道しかありません。

## CU東京とはどんな組合

CU東京は12年前に、東京地評にいた何人かの方々を基礎に生まれました。今、派遣や非正規の人たちで働く人たちに労働組合はありません。CUこそ1人でも加入できる組合で、職場も働き方も違う人たちが地域という



講演する高島本部副委員長

共通項で集まる労働組合組織です。

CU東京は労働法人格を持っているので組合員が所属する企業と団体交渉を行うことができます。高島さんは組合を大きくし、こまった時の駆け込み寺から、こまったことの根源をなくす取り組みへ発展を訴えて結びました。参加者からは話がやさしく理解できた、又参加したいなどの感想文が寄せられました。

(書記長 高島章寿)

## 《速報》

## ユニオンちよだ

### 11.19千代田総行動にて

(株)アイデミーに対し解雇撤回を求め社前行動を展開しました。文京支部から5名もの方が応援に駆けつけてくれました。

詳細は次号で

(ユニオンちよだ 書記長 鈴木明彦)



## 三多摩は月間成功にむけた決起の場として

# 「未組織労働者の結集にむけて一新宿の経験から」

## 東京地評事務局次長 屋代真さんの経験を学ぶ



秋の拡大月間が後半戦に入りました。三多摩は月間成功にむけた決起の場として、20人

が参加する執行委員学習会11月7日に開催。テーマは「未組織労働者の結集にむけて一新宿の経験から」で、新宿一般労働組合の経験を学びました。

講師は東京地評事務局次長で新宿一般労組結成を推進してきた屋代真さん。労働組合として最も重視すべき今日的課題は「組織強化・拡大」という位置づけの下、自らの実践的経験について1時間の講演をいただきました。

屋代さんはCU東京にこそ学ぶべきものが多いと話されましたが、新宿一般の活動は大変有意義なお話でした。その後多くの仲間から、①労働協約の拡張適用の課題、②最賃と地域循環経済の関係、③介護ユニオンの活動、組合活動への参加、新入組合員教育について等について質問があり、丁寧に説明をいただきました。会議では、大江書記長から10件の労働相談対応の概要と現在の拡大到達について報告。相談者の加入に加え、リモートワーク中のMさんが各地区の議員や民主団体の方に熱くCU加入を訴える中、超過達成となる21人以上の加入見通しが報告されました。

また、東京土建各支部や市議会議員、新婦人、年金者組合等との懇談でCU三多摩を知らせ、連携を図れるようにしようとの呼びかけを行い、安定した300人組織と1700人CU東京をめざそ

うと確認しました。

(三多摩書記次長 宮本一)

## はたらく女性の中央集会

### 見学分科会に参加して

#### 寅さん記念館と山田洋次ミュージアム

10月23日(土) 13名の参加で行われました。

案内役・講師にシネフロント編集長の浜田佳代子さんを迎えし「お勉強」しながら見学をしました。集合場所の京成上野駅から一路「フーテンの寅さんが待っている」柴又駅へ。駅前で迎えてくれた「寅さん銅像」の前で早速記念撮影をしてからの出発となりました。



浜田講師の解説で充実した2時間を過ごした後、山田洋次監督の映画をすべて鑑賞してみました。そして私たちがこれからやりたいこともおしゃべりの中でたくさん生まれました。

とっても残念だったのは、16時までの営業だった「高木屋さんのお団子」が時間オーバーで食べられなかったことです。他のお店でお土産を買って帰路につきました。

(副委員長 伊東弘子)

## はたらく女性の中央集会 全体会に参加して

記念講演

「ジェンダー平等」

誰もが働きやすい社会の実現のために  
箕輪明子先生（名城大学）



第66回はたらく女性の中央集会に参加しました。

とても早口で短時間の講演でしたが、今の現状を的確にとらえていました。

男女差別があるのは資本主義の中で女性は男性より低賃金で良いとされてきていてその上で資本主義が成り立っていた。と話を聞いて男女差別は以前から根強くあったのだと改めて感じました。

コロナ禍でそのことが明確になってきていて、現在非正規の労働者が多くなり特に女性が多い、飲食業やサービス業など営業中止になり働く場所が無くなり有給も与えられてなく仕事を辞めるしかなく、政府が出している休業補償も受けられない女性が多くなった。また働き方もシフト制になり、労働者を自由に使えるようになってきている。シフトが減っても何の保障も無く生活できる賃金をもらうことが出来ない、こんな状況で毎日の生活に困った人が多くなってきている。青年ユニオンやNPO法人のposseが貧困

### 一人で悩まないで相談を

- 届きましたか
- つけてますか



缶バッチでCU東京をアピール

問題で相談が多くなってきている、「お金がない」「一家五人無理心中しかない」「緊急事態宣言が出ると死にたい」など深刻な相談がある、特に問題なのは路上生活者の中に女性が多くなってきている事です。女性の差別だけでなく男性に賃金差別がある、男性が家計の担い手になってなく女性も働くことで生活維持が自己責任になっている。

1人でも生活できる賃金保障をとの要求をもっていくことが大切です。労働者の権利保障もしっかりと要求していくことが大切です。非正規の職員でも有給休暇を要求することが出来ることや働いていく為に必要なことが多くあることを知らせていくことが大切だと感じました・

(CUあだち 飯塚美智子)

■「こみゅーと」140号で活動者会議を紹介した。スローガンを大いに学ぼうとし、学んだ力で秋の運動を成功させようと訴えた。あだちは「セミナー」、三多摩は執行委員会で集める努力もされ成功させた。あだち、三多摩は拡大も達成。その月間も大詰め。拡大の成果も80人に近づき、目標112人に迫っている。もうひと頑張り。■総選挙の結果にいろいろな報道がされている。野党共闘が成功したところもあれば、がっかりした選挙区も。今回の共闘は第一歩。この機会を生かし「政治を変える」「社会をかえる」こと話し合おう。主人公はわたしたちだ。■秋の運動の一つに、CUを知ってもらう活動を提起。様々のルートでCUに相談に来られる。ユニオンの名はポピュラーだが、リアルはまだまだ知られていない。友人・知人、団体・組合と懇談すすめたい。■ジェンダー平等が様々な分野の課題。本部大会で選ばれた女性の執行委員は7人、25%にとどまっている。新副委員長の伊東弘子さんが地評大会でジェンダー問題を発言、反響を呼んでいる。差別・格差、貧困の根底にあるジェンダー問題。みなさんの声を、参加を期待する。